

福井県PTA連合会 「わが家の三原則」

平成29年度

一筆啓上・わが家の三原則 表彰式

家庭・学校・地域とのコミュニケーションや生活習慣の確立を目指して、2008年度から実施している、家族のメッセージ「一筆啓上・わが家の三原則」。

今年は16,821通もの心温まる作品をご応募いただきました。家族の心の絆を感じさせられる力作に審査員一同、心震わせました。表彰式では、会長賞・生涯学習委員会賞・優秀賞・入選に選ばせていただきました児童・生徒さんと家族の方の喜びの笑顔とともに素敵な作品をご紹介します。



小学生の部



会長賞

大野市富田小4年

子氏名 多田 夢花

保護者氏名 多田 映里子



三原則

- ① いただきます。ごちそうさま。は、心をこめて。
- ② 自分がわるいと思ったらすなおにあやまる。
- ③ うれしいことがあったらみんなでおいおい。

一筆啓上

お母さんへ

お母さんに、しかられると、「お母さんのバカ」と思うのに、ほめられると「大好き」で思うよ。

夢花へ

叱るのって、こんなに辛いんだって気付いたよ。よし、夢花の良い所いっぱい見つけて大好きになってもらおう。

優秀賞

福井市豊(みのり)小2年

子氏名 齋藤 光来

保護者氏名 齋藤 美智代



三原則

- ① ゴミのポイ捨ては絶対しない
- ② 人にめいわくをかけない
- ③ 1日1回良いことをしよう

一筆啓上

光来へ

わがやに生まれてきてくれてから今まで、ずっとかわいいです。食べちゃいたいくらいです。

おかあさんへ

ぼくは、たべものじゃないので食べないでください。こわいです。

優秀賞

越前市国高小3年

子氏名 吉田 琴美

保護者氏名 吉田 知明



三原則

- ① あいさつをする
- ② すずんで動く
- ③ やさしい言葉を使う

一筆啓上

お父さんへ

今、やってみたい事が、たくさんあるよ。おとうさんみたいに、いろんなことにチャレンジしてみたいな。

娘へ

やってみたいと思う気持ちは宝もの。その宝ものを大きく育てられるように精一杯押していくぞ。

優秀賞

鯖江市豊小2年

子氏名 小林 咲貴

保護者氏名 小林 佳子



三原則

- ① いつもえがおで
- ② 言いたいことを言いあって
- ③ ストレスとさよなら

一筆啓上

さきちゃんへ

さきちゃんの小さな手がおおきくなったら、ママは今より小さくなってるかもね。

ママへ

わたしがおとなになったらわたしのてをつないであげるよ。

優秀賞

越前市国高小3年

子氏名 北川 蓮

保護者氏名 北川 優



三原則

- ① うそをつかない。
- ② ずるをしない。
- ③ 人にやさしくする。

一筆啓上

蓮くんへ

疲れて家に帰ると洗濯物がキレイに畳んである。「畳んどいたよ」とも言わない優しさありがとう。

お母さんへ

いいんだよ。ぼくはお母さんよりわかいからね。ぜんぜんつかないよ。

入選

あわら市 子氏名 児玉 湊 祐
金津東小2年 保護者氏名 児玉 純代鯖江市 子氏名 大西 優希
信陰小4年 保護者氏名 大西 友美勝山市 子氏名 酒井 奏人
成器南小5年 保護者氏名 酒井 直美敦賀市 子氏名 山岸 美結
松原小6年 保護者氏名 山岸 浩代福井市 子氏名 松永 あおい
明新小3年 保護者氏名 松永 晶子坂井市 子氏名 富田 晋作
東十郷小5年 保護者氏名 富田 由美坂井市 子氏名 川 慶太郎
平草小6年 保護者氏名 川 隆司鯖江市 子氏名 山崎 唯菜
豊小2年 保護者氏名 山崎 淑人大野市 子氏名 松田 菜奈
富田小1年 保護者氏名 松田 英子坂井市 子氏名 森下 京姫
三国北小4年 保護者氏名 森下 沙貴坂井市 子氏名 坂ノ上 咲
加戸小6年 保護者氏名 坂ノ上 博文

活動目標

近年ネット環境が整備され拡充する中、スマホや携帯電話等の情報機器に関心を持つ子供達の意識を調査、研究し、広報誌等を通じて情報の発信また共有化を図る。また子供を取り巻く教育環境の浄化、また地域の安全対策等の推進を実施する。

環境委員会

活動内容

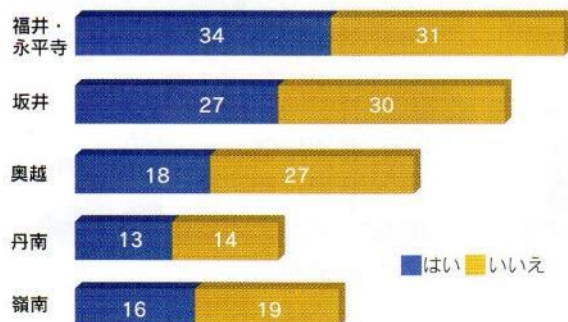
- ★スマホや携帯電話等の情報機器を使用したSNS (LINE等) 利用に関する子供達の意識調査
- ★広報誌等を通じた調査結果の発信と保護者との情報の共有化

今回掲載した集計結果は、「LINEに関するアンケート調査」集計結果のうち、現状を踏まえた(設問2)「あなたはLINEを使っていますか」に対する「小学生と中学生のLINEの使用割合」を各ブロック毎にグラフ化したものです。

小学校

県内各ブロック【小学校】LINE 使用比率

ブロック名	はい			いいえ			総計
	男	女	合計	男	女	合計	
福井・永平寺	17	17	34	21	10	31	65
坂井	12	15	27	17	13	30	57
奥越	8	10	18	18	9	27	45
丹南	7	6	13	10	4	14	27
嶺南	7	9	16	13	6	19	35



●「LINEに関するアンケート調査」まとめと考察

今回のアンケート結果から、すべてのエリアにおいて小学生のLine使用率と比べ、中学生のLine使用率が飛躍的に上がっていることがわかる。届いた意見をまとめてみると、便利だと感じて利用している児童、生徒の中でも、コミュニケーション上の問題やいじめの原因になる可能性があることを理解しながら使っている事が読み取れる。

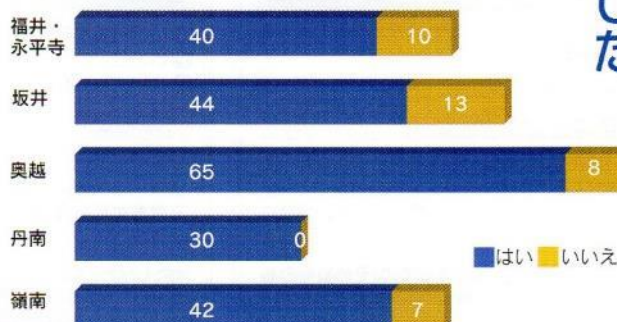
グループという簡易に閉鎖的なグループを作り、気軽に会話ができるということは便利な反面、悪いほうに働けば感受性の高い時期に軽い気持ちからいじめという最悪のケースに発展する恐れも懸念される。意図せず加害者側になっている



中学校

県内各ブロック【中学校】LINE 使用比率

ブロック名	はい			いいえ			総計
	男	女	合計	男	女	合計	
福井・永平寺	15	25	40	9	1	10	50
坂井	22	22	44	9	4	13	57
奥越	32	33	65	7	1	8	73
丹南	14	6	20	0	0	0	20
嶺南	16	9	25	2	5	7	32



ことも考えられるため、保護者側としても子供のプライバシーを尊重しつつ、トークの履歴についてはある程度の監視が必要ではないかということを考えさせられる結果であった。

子供たちの生の声が見えるアンケート結果となっているため、ぜひ参考にして頂きたい。

平成29年度環境委員会の活動として、各ブロック毎の「小学5年生と中学2年生、計10校・計491名」を対象とした「LINEに関するアンケート調査」を実施致しました。

活動目標

子育て研修についての啓発、推進、群市PTAの子育てに関する事業への支援活動を行う。

子育て委員会

★活動計画 県PTA連合会子育て研修会の 企画・立案・実施

- ★6月4日 第1回子育て委員会
副委員長の選出
本年度子育て委員会活動計画の策定
- ★9月2日 第2回子育て委員会
子育て研修会の内容について
本年度子育て委員会活動計画の策定
- ★10月14日 第3回子育て委員会
子育て研修会におけるテーマ及び
内容について
- ★10月27日 第4回子育て委員会
子育て研修会当日のスケジュール、
準備物、役割分担について
- ★11月23日 第5回子育て委員会
子育て研修会の内容・進行・役割分担
の最終確認
- ★1月27日 第59回福井県PTA連合会
子育て研修会開催

活動計画・活動内容



平成30年
1/27(土)

講師 福井県立大学 大学院看護福祉学研究科 准教授
吉弘 淳一先生

子育て研修会

会場／県生活学習館 多目的ホール

「自己覚知を含めた ポジティブに生きる10の方法」

子育て委員会では、子育て真つ最中の保護者の皆さんに元氣を出してもらいたいと考えて、県内の学校現場でカウンセラーとして活躍の吉弘淳一先生に今回の講演をお願いしました。

私達子育て委員会メンバーも、子育てについていろいろな悩みを抱えています。

親子、家族、保護者との関係についていろいろありますよね。家庭ではイライラ、プンプンしてませんか？色んな悩みがあると思いますが、毎日笑顔で楽しく子育てできたらいいですね。自分を知って相手とよりよくつながるポジティブな方法を



東村 県教育長

「勉強やスポーツが出来る子になってほしい」「思いやりのある子に育ってほしい」「人の役に立つ立派な大人になってほしい」などと言う事を聞いてくれないの」等ため息がでる事もあります。でも、子供の人生は子供のものであり、親はサポートに徹しなければいけません。

子供は親を頼りにしている。そう思うと、明るい家庭で笑顔で元気に過ごしていきたいですね。ポジティブにいれば、困難もなんのその！の気持ちになりますね。今一度、自分を見つめ直す事が必要だと思います。

先生から頂いたエゴグラムはどうでしたか？

参加できなかった皆さんも、参加された方からエゴグラムを見せてもらって、まずは自分自身を知る事から始めませんか？

最後になりましたが、吉弘先生、並びに研修会に参加頂いた皆様、ありがとうございました。

見つけませんか？ 私事になりますが、子供を叱る時に子供の視線になってなく、説明をする事もなく上から目線で叱ってしまっています。

子供にしてみたら、なんで叱られているのかわからないはず。最終的には意味もわからず叱られて泣いてしまう事もあります。泣いてる子供を見て反省ばかりです。でも、我が子だからこそ厳しくもなります（子供には、母は鬼と思われてるかも）。

「勉強やスポーツが出来る子になってほしい」「思いやりのある子に育ってほしい」「人の役に立つ立派な大人になってほしい」などと言う事を聞いてくれないの」等ため息がでる事もあります。でも、子供の人生は子供のものであり、親はサポートに徹しなければいけません。

本年度の活動を終えて

県PTA連合会活動に関わることで初めてで、それも委員長と言う大役を任せられ不安ばかりの毎日でした。でも、奥越ブロックに心強い方がいてくださり、たくさんのアドレスを頂いたり、委員会メンバーのお力を頂いてきました。

子育てって難しいですね。「親子、家族、保護者との関係についていろいろありますよね。家庭ではイライラ、プンプンしていませんか？色んな悩みがあると思いますが、毎日笑顔で楽しく子育てできたらいいですね。自分を知って相手とよりよくつながるポジティブな方法を見つけませんか？」テーマが決まった時、自分の子育てに反省すべき事が次から次とでてきました。

出産を終えて、我が子の顔を見た時「産まれてきてくれてありがとう。」と涙を流しました。でも、子育てが始まると、自分の思い通りにいかず、イライラしたり怒ったりの毎日で

した。現在進行形ですね。

私の親からは、「子供は誉めて育てるんだよ。怒る時もあるけど理由を説明する事が大切。子供も親も一年生からスタートなんだよ」とよく言われました。その時はわかっているのですが、なかなかうまくいかない事もあります。子供から教えられる事もたくさんあります。自分の事は棚にあげて子供に高望みをしたり、子供とは言え1人の人間です。

子供から笑顔を見せてはいけません。毎日元気に学校に行き友達とたのしい学校生活を過ごしてほしい。勉強はあとからでもいいかな？と思うのですが、期待してしまう自分。驚沢はできませんが、元気に笑顔で毎日過ごしていきたいです。

最後に、本年度の子育て委員会の活動に御理解、御支援、御協力頂きました皆様に深く感謝するとともに、心からお礼申し上げます。

アンケートにより頂戴しました皆様の貴重なご意見も次年度に確実に引き継ぎ、更に良いものを創っていきたいと思います。

ブロック紹介 こんなことやってます!

奥越
ブロック

「あけぼの運動」

勝山市立鹿谷小学校PTA

鹿谷小学校PTAは、平成元年より続く「あけぼの運動」という活動を行っています。「あけぼの運動」とは、

○あ……あいさつ

○け……けじめ

○ほ……ボランティア

○の……のびやか

の頭文字をとり、家庭・地域・学校が一体となり子供達を育てる活動です。30年余り続けている活動という事もあり、保護者のみならず児童の祖父母や地域住民の方々にも浸透しており、(鹿谷小学校)あけぼの運動が浸透しています。今年度は春と秋に約1か月間ずつ保護者に参加可能日を募り、生徒玄関で登校してくる子供達とあいさつ強化運動を行いました。またこの期間は、地域住民の方々もいつも以上に登校時間にあわせて外に出て来てくださってあいさつ運動に協力していただきました。今後先方から受け継いだ「あけぼの運動」を継続しつつ、更なる発展に努めています。

丹南
ブロック

地元指導者による体験授業 ふれあいオープンスクール

鯖江市河和田田小学校では毎年、PTAと地区の公民館が一体となって「ふれあいオープンスクール」を開催しております。

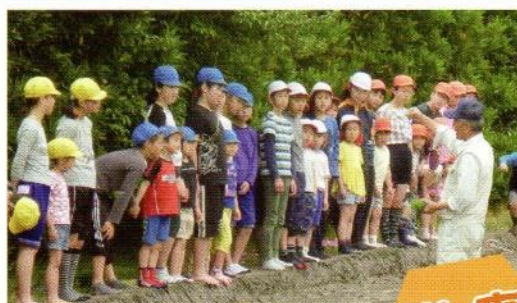
このふれあいでは河和田伝承料理、ネイチャークラフト、楽器体験、ブリザーブドフラワー、ヒップホップダンス、沈金教室、メガネデザイナー、3Dプリンター教室など11種類の体験コーナーがあります。オープニングでは5、6年生の合唱や地元東陽中学校吹奏楽部による演奏などを全員で楽しめ、その後希望した体験授業を行います。

このふれあいオープンスクールの最大の特徴は体験授業の指導者が河和田地区を中心とした地元の人ということとです。趣旨は子ども(保護者も一緒に)たちと地域の人々が、地域の歴史や自然文化また伝統産業を体験しながら交流することです。メガネや漆器の伝統産業、豊かな自然に囲まれた地区ならではの事業だと思っています。

額南
ブロック

地域と連携した 「ゆりかご米」づくり

若狭町立三方小学校PTA



三方小学校はラムサール条約に登録されている三方五湖の近くにある自然豊かな学校です。毎年、保護者や地域の方々、関係機関の協力を得てゆりかご米作りを行っています。三方湖のコイやフナを育てています。カエルや虫など、他の生き物にとっても、住みやすい「生き物のゆりかご」の復活を目指し「ゆりかご田」と名づけられています。

米作りは地元の農家や保護者の方々の御指導のもと、畦塗りから始め、田植え、草取り、稲刈りなどの工程を分担しながら行っています。また、漁協や海浜自然センターの協力を得て、コイ・フナの卵をふ化させ、自然農法のように田んぼでコイやフナを成長させた後、三方湖につながる河川に放流しています。

このような環境学習の取り組みが認められ、本年度「環境美化優良校表彰事業」で最優秀校の一賞の「農林大臣賞」を受賞しました。今後も学校・家庭・地域が一体となって三方地区の自然環境を守るとともに、ふるさと三方を愛する子を育成していきたいと思っています。



編集 後記

広報委員の皆さんやたくさんの方にご指導、ご協力いただきながら116号の広報紙を発刊することが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

この広報紙を作成するにあたり、「福井県PTA連合会を皆さんに知ってもらいたい」という思いで作りました。福井県PTA連合会の活動について少しずつ分かってきたため、皆さんに伝えたい活動や出来事がたくさんあり、掲載する内容を話し合うのにとっても大変でしたが、広報委員の皆さんと作れたと思っています。読んでいただいた方に少しでも福井県PTA連合会の事が伝わればうれしく思います。